

特定テーマ① コア施設（温浴機能、飲食機能、物販・体験機能）を設計する上での考え方について（実施要項に示した項目ごとに記載してください）

■基本計画・内容に対する考え方

屋外と一体となった建築づくり「森に立ち、変える」

「森に立ち、変える」

屋外空間を積極的に建築に取り入れた提案はキャンプフィールドに隣接する施設として多くの可能性に満ちている。里山の森に立ち、人と自然、人と人の関係をもう一度見つめ直す。森に融け、森を変える。「森に立ちかちること、人間の価値観をも変える場所」となるような「自然共生の価値観」を届ける地域密着型の交流フィールドをこれらが大切であると人生、

温浴・飲食・物販機能を1つの建物ボリュームで計画することによって、集客機能と滞在空間が連続的に配置され、それぞれの交流機能を絡めて滞在時間を設けることができている。観光客や地域の方々が気軽に立ち寄れる場所としての役割を担う施設として計画されている。

実施設計における課題

広いデッキ空間や屋外空間を積極的に建築に取り入れた提案は、利用者満足の上につながっている一方、デッキのメンテナンスなど中長期に見た維持管理への配慮が必要と考える。又、整備費用の削減の観点から施設規模の妥当性や面積比率等検討が必要であると考える。

課題への対策

運営・維持管理の具体的な内容の検討と並行して効果的な施設となるように設計する。キャンプ場運営実績のある事業者のアドバイス・協力体制を整え、工事期間を含めた開場までの工程を見据えて様々な検討、比較を行い設計作業を進める。

■整備費用、維持管理費用等を低減する工夫

建物の長寿命化を図りメンテナンスコストの削減を図る

高耐久性の素材の選定

外壁は超撥水ポリマーを塗布し耐候性能の向上を図ります。又、雨が乾くようになる外壁の足元等では跳ね返りへの対策として、コンクリート基礎の上上がりを中心に確保し、砂利散敷や芝生などの水が散乱しにくい舗装を採用し、跳ね返り高さを配慮します。

	B	C	D	無塗装
0年経過後				
1年経過後				
2年経過後				

A：超撥水ポリマー、B：油性塗料、C：水性塗料、D：ガラス系塗料、E無塗装  
劣化防止効果が大幅に減少されるので、長期的なメンテナンスコストの削減となります。

デッキのメンテナンス性に配慮

デッキ広場のデッキは、デッキ材よりも根太の方が腐朽しやすいといった観測と、又デッキ材から留め付けるボルトや釘は雨が濡れやすいため、裏面から留め付ける工夫をします。将来のデッキ部材の交換がしやすい設計とする。

空気調和設備

空調エリアの適切なゾーニング計画によるインシャルコストの削減に努めます。施工性を考慮したダクト経路・最短ルート検討計による資料を削減、レストラント厨房の配置を変更し、山側に直接排気をするようにして、建物の美観を損なうことなくメンテナンスコストを削減します。

経済性・運営に配慮した構造計画

構造材製造品材の一般流通材を組み合わせて作るトラス構造とし、できるだけシンプルで効率的な良い架橋形式とします。又、地場の施工業者でも単純に施工できるよう配慮した設計とします。

温浴機能の防錆対策

露天風呂の柱・梁の本見出しとなる部分は、温泉成分によって金物の腐食が発生し、耐力低下のリスクがあるため金物は使用せず、在来工法の継ぎ手を採用します。又、柱脚部分は常時水がからぬようように東行木として耐久性の向上に配慮します。

結露対策

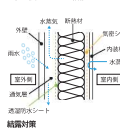
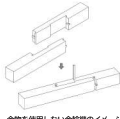
敷地の特性上、切土法面積と建物の間は空気が停滞しやすく結露のリスクがあるため、適切な断熱計画で結露をしないよう配慮します。そうすることにより建物の耐用年数を延ばすことや、断熱性の向上によりライニングコストの削減を図ることができま

窓上の小庇の設置

長年にわたる夏間部からの雨水の侵入防止、外壁の汚れ防止、夏の強い日差しを防ぐ為に、開口部には適切な小庇を設計します。

照明計画

一般流通品、汎用品を多用した交際の時の調律ソウラの低減に配慮します。屋外の照明にはソーラーパネルを内蔵した照明計画とし、配線にかかるインシャルの削減、ランニングコストの抑制を図ります。



■集客、利用者満足度向上につながる工夫

「ここにしかない」魅力ある施設

ここにしかない、魅力ある施設

指定管理者と念密な協議をし、温浴・飲食・物販、それぞれの機能の統一感を作り出すことが最も大切であると考えます。キャンプフィールドに隣接する施設として屋外と一体的な利用ができる空間づくりと、アウトドアのコンセプトが利用者に伝わるよう計画します。又、内前はキャッシュレジスタを導入するなど手ぶらで施設全体を利用できるように利用者満足度向上に努めます。



外気浴を楽しむ温浴体験

温浴だけではなくサウナ・冷浴・外気浴を一体的に楽しめ温浴空間での過ごし方が注目されています。自然を借景しながら、テントサイトやキャンプなどの道具を用いて外気浴空間を活用することができるようにするなど、触定だけでなく視・聴・触・味も含めた温浴空間の空間提案を行う。

■設計面での独自の提案

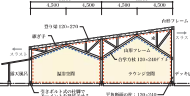
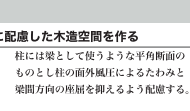
鹿沼市産一般材と嵌合接合で経済性に配慮した木造空間を作る

ラウンジや物販空間など大きなスパンの無柱空間を実現するために山形フレームと山形フレームを組み合わせた架橋を提案します。これにより鹿沼市産の一般流通材の木材側面で作成することができ、木材コストを抑えることが出来ます。又嵌合接合によって特注金物を極力なくし経済性に配慮した構造計画とします。外郭の山形フレームに方がとりつけた橋形式は鉛直方向によって柱が外側に開こうとするスラストがかかるため、



開放的な物販空間

部材の高さを抑え、視線が抜け屋外へ意識が繋がる空間設計づくりを行い、気軽に立ち寄りたくなる開放的な空間設計を提案します。視覚だけでなく、行き来しやすさなども合わせて開放的でオープンな空間を確保し、気軽に立ち寄って時間を過ごせる施設を計画します。



■同種類似の設計業務内容

おちに淀川 キャンプフィールド

仁淀川を中心とする体験型観光拠点となるキャンプ場の設計・監理業務。屋外広場を囲むように建物分棟に配置し、キャンプフィールドと一体となった建物の計画をしました。店舗内に内装制限がかかる為、梁と柱の配置を工夫して、出来る限り木が見出しとして使用できるように設計しています。



屋外と連続した飲食スペース

テントやタープを活用した屋外広など、屋外空間との連続性を利用した飲食スペースづくりを行います。屋外デッキは地域マルシェの開催、農産物の販売ができるように計画し、地域から親しまれるような親しい拠点施設を目指します。

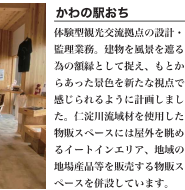


アウトドアを感じるラウンジ空間

開放的なラウンジスペースには、ゆったりくつろげるベンチやキャンプテーブルを計画します。室内へアウトドアな雰囲気や屋外デッキとつながっていきます。

■かわの駅おち

体験型観光交流拠点の設計・監理業務。建物と風景を癒やすのに馴染みとして提案、もともとあった景色を新たな視点で感じられるように計画しました。仁淀川流域村を使用した物販スペースには屋外を眺めるイートインエリア、地域の地産地消品を販売する物販スペースを併設しています。



\*用紙はA3判とし、横並びで記載すること

\*提出者（協力事務所等を含む）を特定することができる内容（具体的な社名等）は記載しないこと。社名等が特定できないものであれば、写真等の掲載も可とする。